



私の価値

東京都・東京都立大泉高等学校附属中学校 3年 岡本 晋

現代は、あらゆるものが「お金」によって価値をつけられています。お店で売っている商品、提供される様々なサービス、それらをお金と交換して私たちは生活しています。お金がなければ生活できません。ですから働いてお金を稼ぎます。しかし、私はまだ中学生ですから、働くことができません。今こうして生きているのは、働いている両親のおかげです。あたりまえのように学校に行き、あたりまえのように授業を受け、ただひたすら学校で勉強をし、放課後は部活動に励む日々です。今の私にどれくらいの価値があるのでしょうか。

私は現在、都立の中学校に通っています。小学校6年生の時に、受験をさせてもらいました。当時とにかく受かりたいと思っていたので、自分から塾に通うことを決め、必死に努力しました。塾の授業料は安くはありませんでしたが、両親は何も言わずに了承してくれました。「お金を出してあげることしかできない」と言って謝られたことは忘れられません。受験を応援してくれている両親のためにも、精一杯努力しました。結果無事に合格し、目標であった学校に入学しました。

入学してから今に至るまで、私は本当に充実した毎日を送ってきました。授業では多くのことを学び、たくさんの友達と話したり、部活動に励んだり、気づいたときには中学生最後の年になっていました。もちろん、楽しいことばかりではなく、部活動のことで悩んだこともありましたが、友達関係のことで涙を流したこともありましたが、しかし、学校を通して経験するすべてのことが、私にとっては大切なものになりました。受験にはお金がかかりましたが、私はこの学校で、お金をかけてでも手に入れるべき価値あるものに出会ってきたと思っています。その反面、後悔をしているところもあります。私にとって学校の勉強は、「やらなくてはならないもの」でした。それは、自分から学びたいというのではなく、将来のためという思いでした。勉強をすることは、必ず自

分のためになります。しかし、いつしか勉強ができる環境があたりまえなのだと感じるようになり、そのことに対する感謝の思いを忘れてしまっていたかもしれません。そのことを分かっているながらも、勉強をさぼることがあり、勉強を通して出会えるはずの知識という価値あるものを、自分から手にしようとしませんでした。努力を怠り、自分を磨いてこなかったことを情けなく思います。

私は来年、留学をする予定です。今の自分を変えるために、自分から新しいことに挑戦してみようという思いで決心しました。同時に、高い留学費用がかかることも、そのお金を両親に出してもらうことも承知しています。それでも、私は留学という勉強をしたいのだという覚悟の上で、両親に承諾をもらいました。勉強をするのにも、お金はかかります。お金がかかる以上、勉強は「やらなくてはならないもの」なのかもしれません。しかし、中途半端な姿勢で学んだことが身に付くとは思いません。それは、中学校生活で身をもって経験してきました。勉強ができること、お金を出してくれる両親に感謝し、学ぶことに対する誠意を持って、これからの勉強に取り組もうと思います。

今まで生きてきた15年間、私は様々な場面で両親にお金を出してもらってきました。今の私にそのお金以上の価値はないかもしれません。しかし、私が今まで得てきた、そしてこれから手にするだろう価値あるものを通して、学力だったり人柄であったり、そういう自分の価値を磨いていきます。そしていつか、両親に投資してもらった以上に価値のある人に必ずなります。きっと両親には、お金のことでこれからもお世話になります。働いて稼いだお金を使うことが、容易ではないことも十分理解しています。しかし、その投資は両親の私への思いであり、私の将来への期待でもあると思います。それに応えるためにも、私は努力を惜しみません。そしてその投資を、留学という貴重な経験を決して無駄にはしません。

お金は必要です。お金があれば、この世界の大抵のものは手に入ります。しかし、お金と交換できないものもあると思います。きっと、どんなに大金を払っても親を選ぶことはできません。私の家庭は決して裕福ではありません。それでも、こうしてたくさんの価値あるものに出会えたのは両親のおかげです。父と母の子でよかったと心から思っています。同時に、両親に甘えることなく、これからの自分磨きのチャンスを有意義なものにし、自ら道を切り開いていこ



うと考えています。そして、私が大人になった時に、少しずつでも恩返しをしたいと思っています。

